

# あなたの宝物

## ～友達と自分のよさを発見しよう～

小学校・4～6年生

### I プログラムについて

#### 1 人権教育上のねらい（普遍的な人権課題「自己尊重の感情」）

＝【人権感覚育成のための視点】

友達から自分のよいところを挙げてもらう体験を通して、自分の個性を多面的に理解し、自らを価値ある存在として肯定的に受け入れ、自信をもって生きていく意欲など、一人一人の自己肯定感を高めることができるようにする。

#### 2 関連する教科等について

##### ○学級活動

内容（2） 日常の生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全  
（イ よりよい人間関係の形成）

#### 3 人権教育上の視点

- （1）自分を肯定的に受け止める態度を身に付けようとする。（価値・態度）
- （2）自他の存在をかけがえのないものだととらえることができる。（技能）

### II アクティビティーについて

#### 1 概要（2～3時間扱い）

##### ○活動1（1～2時間）

各自がそれぞれ友達のよさをカードに書き入れ、全員分書いたものを切り取って、配布する。

##### ○活動2（1時間）本時

友達からのカードを読み、気に入った五つのカードを選ぶ。意見の交流をしながら、自分のよさナンバー1を選び、感想をまとめる。

#### 2 準備するもの

- 友達のよさ記入カード
- ワークシート

### 3 アクティビティーの進め方（3／3時間目）

#### ○活動1 「あなたの宝物」

- ① クラスの友達によさを全員分カードに書き入れる。自分がもらったとしたら嬉しい内容を書き込む。自分との交友関係の中で友達のエピソードがある場合には、それも書くようにする。
- ② 担任に内容を確認してもらった後、カードを全員分切り取り、友達のもとに配る。
- ③ 自分に届いたカードを見て、気に入ったベスト5が一番上になるように、ワークシートに貼る。

#### ○活動2 「意見交流」

- ① 友達とカードを見せ合い、意見の交流をする。カードに書かれた内容について同意をしたり、カードに書いていないことを付け加えたりする。
- ② 友達の意見も参考にして、自分のよさナンバー1を決める。

#### ○活動3 「振り返り」

- ① 活動を通して、気付いたことや考えたこと（友達によさをたくさん探せたか、友達が見付けてくれた自分のよさや、意見交流した時の友達の話はどう思ったかなど）を書く。
- ② 家庭学習として、ワークシートに保護者からの一言をもらうよう指示する（保護者への依頼文等を含め、学級の実態に応じて実施するかどうかを検討する）。

### 4 アクティビティーを指導する際のポイント

- あたたかな雰囲気の中でグループ活動ができるようにし、肯定的な言葉を使うように指導することが、一人一人の自己肯定感を高める上で大切である。
- 友達によさをカードに書く際は、「やさしい」「協力的」など抽象的な表現にとどまらず、できるだけ具体的な行動を交えて書くように努めることを指導する。また、カードに書く時間を十分確保する。
- ある程度、学級内の人間関係が構築された時期に実践すると効果的である。

Ⅲ 授業の実際 (3/3時間目)

時間	学習活動 発問 (T) 児童の反応例 (C)	教師の働きかけ (・) 人権教育上の配慮 (◎)
15分	<p>1 本時の学習テーマの確認</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">                     あなたの宝物～友達と自分のよさを発見しよう～                 </div> <p>T 友達の書いてくれたカードを読みましよう。その中で気に入ったものを五つ選び、ワークシートに貼りましよう。</p> <p>C 嬉しいな。選ぶのが大変だな。</p>	<p>・もらったカードが見えるように、ずらして貼るよう指示する。</p>
20分	<p>2 意見交流</p> <p>T 班の友達とワークシートを見せ合って、気が付いたことを伝え合いましよう。</p> <p>C なるほど。〇〇さんは、確かにこういうよさがあるね。そういえばこの前、こういうこともあったよ。</p> <p>C 認めてもらって嬉しいな。</p> <p>3 自分のよさナンバー1の選択</p> <p>T 友達の話を参考にして、一番気に入った自分のよさを書き、その理由も書きましよう。</p> <p>C 最初はこっちがいいと思っていたけれど、友達の話を聞いたら迷うなあ。でも、これにしよう。</p>	<p>・グループ全員が友達のカードを見て、内容に同意したり、書いていないことを付け加えたりするよう指示する。</p> <p>◎自他のよさに気付くことができるよう、カードに書かれた内容や意見に共感した声掛けをする。(技能)</p> <p>・意見交流が十分でないグループには、教師も意見交流に加わり、児童が具体的な場面で活躍したことや、前向きな言葉を伝えるなどの支援する。</p> <p>◎自分のよさを肯定的に受け止め、自分のよさを伸ばしていく意欲を高めるために、全てのカードを見直すよう声掛けをする。(価値・態度)</p>
10分	<p>4 振り返り</p> <p>T 「あなたの宝物」をやってみてどうでしたか。感じたこと・思ったことを書きましよう。</p> <p>T みんなすばらしいところをもっていることに気付きましたか。</p>	<p>・友達が見付けてくれた自分のよさやグループで伝えてもらったことについての感想などを書かせる。</p> <p>・書いた内容について、周囲で意見交換をさせたり、全体で発表させたりする。</p>



第1章 理論編  
 第2章 事例編  
 人間の尊厳 価値の尊重  
 生命尊重  
 自己尊重の感情  
 共感と連帯感  
 公平・公正  
 多様性の尊重・共生  
 コミュニケーション  
 権利と責任  
 参加・参画  
 第3章 資料編

(2) ワークシート

# あなたの宝物

年 組 名前 ( )

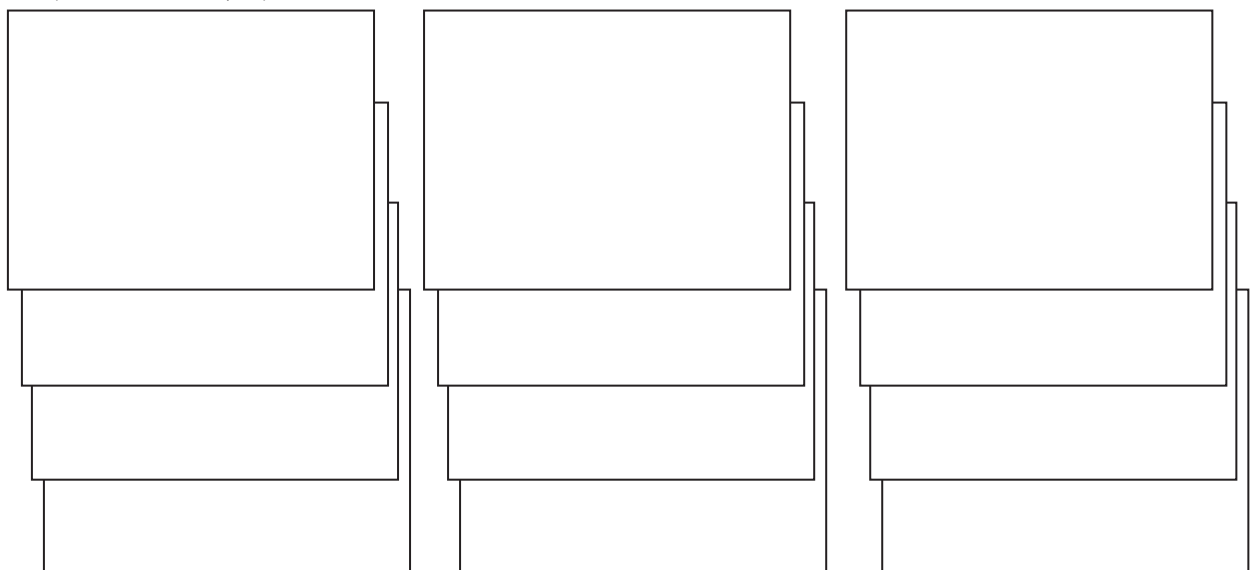
1 友達からもらったあなたのよさベスト5をここにはりましょう。

## ベスト5

さん	さん	さん
はる順番には、こだわらなくて大丈夫です。		
より	より	より
さん	さん	
より	より	

☆ 他のカードは、下の例のように、めくれば見えるようにしておきます。うら面上部にのりをつけて、少しずつずらし、下からはっておきましょう。この文字はかくれてしまっても大丈夫です。

(はり方の例)



2 左側のカードを見て、班の友達が話してくれたことを書きましょう。

.....
.....

3 友達が話してくれたことをさんこうにしながら、あなたのよさナンバー1を選び、書きましょう。また、理由も書きましょう。

あなたのよさナンバー1

--

選んだ理由

.....

4 「あなたの宝物」をやってみて、気づいたこと、感じたことを書きましょう。(あなたが気づかなかった自分のよさ、友達がしてくれた話や書いてくれたことなどについて自由に書きましょう。)

.....
.....
.....

5 おうちの人からの一言

.....
.....